

会社概要 （平成24年7月31日現在）	
商 号	株式会社 山王
所 在 地	〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東5-8-8
T E L	045-542-8241
F A X	045-544-0088
代 表 者	代表取締役社長 甲山 文成
設 立	昭和33年8月
資 本 金	9億6,220万円
従業員数	515名（連結）
事業内容	コネクタ、スイッチ、ICソケット等の電子部品の貴金属表面処理加工、金型製作及び精密プレス加工

株式の状況 （平成24年7月31日現在）	
発行可能株式総数	17,600,000株
発行済株式の総数	5,000,000株
株主数	1,813名

■ 大株主

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
荒巻 芳幸	814,480	16.90
有限会社山旺商事	528,000	10.96
山王貴金属株式会社	209,700	4.35
株式会社みずほ銀行	203,000	4.21
株式会社りそな銀行	192,000	3.98
山王従業員持株会	170,160	3.53
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 006	155,000	3.22
荒巻 喜代子	124,140	2.58
住友生命保険相互会社	100,000	2.08
山崎 亜紀緒	89,800	1.86

*持株比率は自己株式（181,050株）を控除して計算しております。

役員 （平成24年10月25日現在）	
代表取締役社長	甲 山 文 成
常 務 取 締 役	久 志 田 勉
取 締 役	増 子 金 市
取 締 役	前 田 次 利
取 締 役	岩 城 泰 彦
取 締 役	鈴 木 啓 治
取 締 役	三 浦 尚
常 勤 監 査 役	古 屋 英 樹
監 査 役	田 畑 孝 之
監 査 役	神 津 重 人

株主メモ	
事業年度 定 時 株 主 総 会 基 準 日 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日 公 告 方 法	8月1日から翌年7月31日まで 毎年10月中 7月31日 剰余金の配当 7月31日 中間配当 1月31日 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
上 場 取 引 所	大阪証券取引所（ジャスダック）
（郵便物送付先） （お 問 合 せ 先）	〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843（フリーダイヤル）

各種手続のお申出先

- ◎ 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ◎ 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたしております。
<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
（一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。）

SANNO

貴金属表面処理加工分野の
リーディングカンパニー

第54期 報告書

平成23年8月1日～平成24年7月31日

CONTENTS	
株主の皆様へ	P.1
特集 今後の展開	P.3
連結財務諸表（要旨）	P.5
株主様アンケート結果のご報告	P.6

World ENTERPRISE

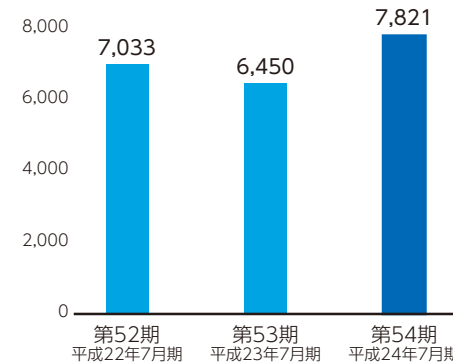
世界企業 山王へ

グローバル展開を進め、
成長フェーズへの転換を目指します

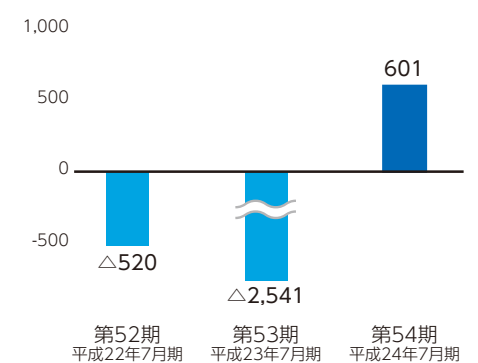
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第54期の事業ならびに決算の状況についてご報告申し上げます。



売上高（単位：百万円）



当期純利益（単位：百万円）



□ 平成24年7月期の市場環境と業績

当社グループが属する電子工業界におきましては、高性能携帯電話のスマートフォンやタブレットPC等のIT機器が新興国の新規需要や先進国の買い替え需要により拡大し、また、カーエレクトロニクス部品市場も東日本大震災の復興に加えて、自動車のエコカー補助金による押し上げ効果により、回復基調となりましたが、一方で、ノートPCや薄型テレビ関連は在庫調整及び需要低迷による価格下落等が続き、総じて厳しい事業環境となりました。

当社グループは、徹底的な経営合理化の推進を最重要課題に掲げ、人件費の大幅な圧縮を図る等、効率化を推し進めつつ、新技術開発や工程改善にも取り組むことで顧客満足度の向上に努め、積極的な営業活動を展開いた

しました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高7,821百万円（前年同期比21.3%増）となりました。また、営業利益は296百万円（前年同期は営業損失495百万円）、経常利益は338百万円（前年同期は経常損失508百万円）、退職給付引当金戻入額の発生等により、当期純利益は601百万円（前年同期は当期純損失2,541百万円）となりました。



□ 今後について

今後も先行き不透明な状況が予想されますが、当社グループは、今後も顧客満足度の向上に努め、生産体制の効率化をさらに推し進めることで、品質改善、生産性の向上を図り低価格要請に 대응していくほか、プレス・めっき一貫加工体制の一層の充実・強化により価格のみならず、品質、納期対応力の向上を図り、より一層の受注機会の拡大に努めてまいります。

□ 配当について

当社の利益配分につきましては、今後の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続実施していくことを基本方針としております。

平成24年7月期の配当につきましては、基本方針と収益状況から判断し、1株当たり6円の期末配当を実施いたします。また、平成25年7月期の期末配当は1株当たり6円とする予定です。

当社は、皆様のご期待に応えられるよう取り組んでまいります。
株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜り、より一層のご支援、
ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
甲山 文成

構造改革による収益基盤の構築フェーズから成長フェーズへ

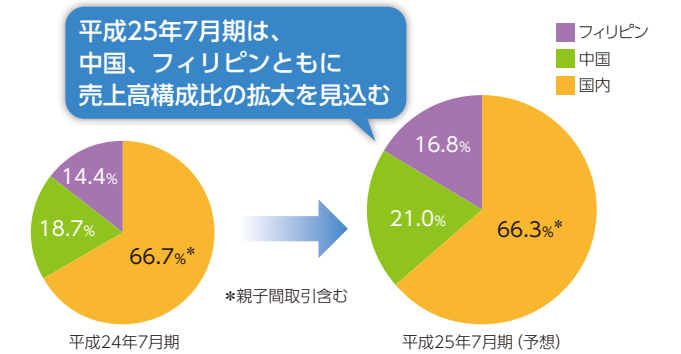
当期は抜本的な事業構造改革として、新たな組織体制で人件費の圧縮を図り、社内業務の見直し等による生産体制の効率化を推し進めました。併せて、より一層の品質、価格、納期等への顧客満足度の向上に取り組みました。

これらの事業構造改革により収益基盤が構築され、新たな成長戦略を描き、取り組んでいく体制が整ったと考えております。

今後の成長への大きな柱は、東アジアを中心とした海外事業であり、今後も経営資源を海外事業に重点配分し積極的なグローバル展開を進めてまいります。



地域別売上高構成比の推移（単位：百万円）



横浜、東北、鈴川、秦野

国内工場は付加価値の高いプレス・めっき加工技術を持っております。今後はその技術力を活かして品質改善、生産性向上による低価格化等を推進し、顧客満足度を高めて一層の受注拡大に努めてまいります。

Sanno Philippines Manufacturing Corporation (SPMC)

海外進出第一の拠点で、マニラ近郊のGateway Business Parkに位置し、山王が誇る技術の粋を集めた工場であり世界戦略に重要な役割を担っています。

山王電子（無錫）有限公司（山王電子）

海外第二の拠点として、中国無錫に進出しました。環境問題にも配慮した最新鋭の設備を有する工場です。

国内の取り組み

付加価値製品対応の強化と新規事業開発体制の強化

めっき加工の「高付加価値」拠点

「脱めっき分野」への事業拡大

Japan

海外の取り組み

スマートフォン・タブレット端末等の商流の変化に対応する既存生産拠点の強化

●海外で生産拡大投資を実施予定

■中国 → プレスめっき一貫加工体制の推進、スポットめっきライン増設

■フィリピン → 既存ライン改造及び設備投資の推進、近隣の東南アジア諸国からの受注体制確立

新たな取り組み 「車載分野」に進出し、海外事業の第2の収益基盤確立を目指す

●車載分野への進出をスタート

■中国 → 車載部品用ラインに改造、稼働開始

■フィリピン → 東南アジアの車載分野獲得を推進

Overseas

連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	当期 (平成24年7月31日現在)	前期 (平成23年7月31日現在)
資産の部		
流動資産	7,012,502	6,924,003
現金及び預金	3,231,376	3,411,371
受取手形及び売掛金	2,308,870	1,929,959
製品	138,150	92,073
原材料及び貯蔵品	1,232,043	1,383,031
その他	103,024	121,415
貸倒引当金	△ 961	△ 13,849
固定資産	3,175,034	3,370,271
有形固定資産	2,710,928	2,782,524
無形固定資産	66,697	74,395
投資その他の資産	397,409	513,351
資産合計	10,187,537	10,294,274

科目	当期 (平成24年7月31日現在)	前期 (平成23年7月31日現在)
負債の部		
流動負債	3,037,015	2,988,279
固定負債	827,518	1,532,149
負債合計	3,864,533	4,520,428
純資産の部		
株主資本	6,897,925	6,296,208
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	5,121,595	4,519,878
自己株式	△ 56,489	△ 56,489
その他の包括利益累計額	△ 574,921	△ 522,362
その他有価証券評価差額金	143	31,099
為替換算調整勘定	△ 575,065	△ 553,461
純資産合計	6,323,003	5,773,846
負債純資産合計	10,187,537	10,294,274

Point

■資産の状況

当連結会計年度の資産の部は、前連結会計年度に比べて106百万円(1.0%) 減少して、10,187百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が150百万円減少したものの、製品が46百万円増加したことによるものであります。

■負債の状況

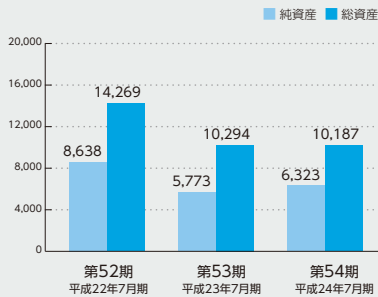
当連結会計年度の負債の部は、前連結会計年度に比べて655百万円(14.5%) 減少して、3,864百万円となりました。これは主に、社債が277百万円、退職給付引当金が379百万円減少したことによるものであります。

■キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して244百万円減少し、2,885百万円となりました。

連結業績ハイライト

■純資産・総資産 (単位：百万円)



連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期 (平成23年8月 1日から 平成24年7月31日まで)	前期 (平成22年8月 1日から 平成23年7月31日まで)
売上高	7,821,852	6,450,156
営業利益又は営業損失(△)	296,400	△ 495,048
経常利益又は経常損失(△)	338,740	△ 508,577
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	634,999	△ 2,511,103
当期純利益又は当期純損失(△)	601,717	△ 2,541,624

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期 (平成23年8月 1日から 平成24年7月31日まで)	前期 (平成22年8月 1日から 平成23年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	309,854	△ 43,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 218,181	△ 21,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 317,178	△ 703,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 19,009	△ 138,840
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 244,515	△ 906,906
現金及び現金同等物の期首残高	3,130,276	4,037,183
現金及び現金同等物の期末残高	2,885,761	3,130,276

ホームページのご案内

当社のホームページでは、皆様に会社概要・事業内容などをご理解いただくため、分かりやすく工夫して作成しております。今後もホームページを通じて積極的に情報を発信してまいりますので、是非一度ご覧ください。

<http://www.sanno.co.jp/>

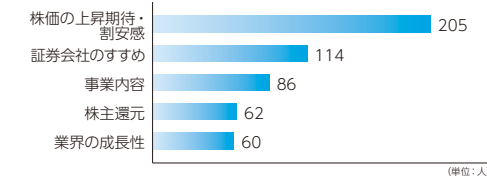


株主様アンケート結果のご報告

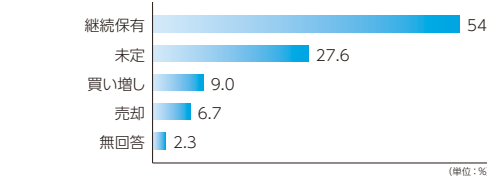
第54期中間報告書で送付の際に実施させていただきました「株主様アンケート」では、おかげさまで多くの株主の皆様からご回答をお寄せいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。この度頂戴いたしましたご意見を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。
ここに、アンケートの集計結果(一部)を報告させていただきます。

調査概要	
調査対象	全株主 1,892名
調査方法	郵送
調査期間	平成24年4月～平成24年5月
集計対象ハガキ	388枚

●当社株式を保有された理由(複数回答可、上位5つ)



●当社株式に関する今後の方針



53期報告書では、アンケートにご回答いただきました株主様の中から抽選で20名の方に薄謝を発送させていただきました。引き続き、今回もご回答いただいた方から抽選で20名様 に薄謝を贈呈いたします。
これからも報告書が株主の皆様とコミュニケーションを図る架け橋となるように誌面の充実に努めてまいります。